

# 令和3年度和歌山県文化賞

## 久保田 弘敏

住 所 東京都大田区  
出身地 和歌山県有田川町  
生 年 昭和16年

### ◎ 業績及び経歴

昭和16年有田郡藤並村（現有田川町）に生まれる。県立吉備高等学校（現有田中央高等学校）に入学後、栃木県に転居し、その後東京大学工学部航空学科に入学。昭和45年同大学院工学系研究科航空学専攻博士課程を修了し、工学博士となる。

大学院修了後、科学技術庁航空宇宙技術研究所に入所し、宇宙飛行体の空気力学及び熱空気力学を研究。昭和49年アメリカ航空宇宙局(NASA)から客員研究員として招聘を受ける。帰国後は、東京大学工学部航空学科において、航空宇宙工学分野の研究と学生の育成指導に尽力。代表的な研究成果として、極超音速機の空力加熱に対するトランスピレーション冷却法と頭部スパイク装着による熱防御、超音速機のソニックブーム低減のための機体形状設計及び排気中の窒素酸化物とオゾンの反応シミュレート、将来型宇宙輸送システムの成立性評価、等がある。

また、日本航空宇宙学会会長、日本流体力学会会長、日本ロケット協会理事、国の審議会等の委員、国際会議委員、国際的学会誌の編集委員等を歴任。日本学術会議での航空宇宙科学技術の方向性を示す提言、総合科学技術会議での第5期科学技術中期計画の策定、特殊法人宇宙開発事業団の外部評価と組織改革を礎とした宇宙航空研究開発機構(JAXA)の発足への寄与等、氏の我が国科学技術の発展及び産業振興にもたらす功績は実に膨大で枚挙に暇がない。

さらに、帝京大学理工学部では宇宙システム研究会を創設し、微小重力環境と宇宙放射線が粘菌に与える影響を観察する小型人工衛星の研究開発を学生に指導し、打上げを実現。小中高校生向けサイエンスキャンプの開催や本県を含む各地域での講演会など、一過性で終わらせない氏の人材育成活動は、将来の宇宙分野を担う若者達を着実に育てている。

航空宇宙工学の世界的研究者としての氏の卓越した功績は、誠に多大であり計り知れない。

### ■ 現 在

- 東京大学名誉教授
- 帝京大学理工学部研究支援者
- 東京電機大学客員教授
- 一般社団法人日本航空宇宙学会名誉会員
- 一般社団法人日本流体力学会名誉会員
- アメリカ航空宇宙学会(AIAA) Associate Fellow
- 一般社団法人可視化情報学会シニア会員
- 日本ロケット協会名誉会員
- 公益財団法人宇宙科学振興会理事

### ◆ 主な表彰歴等

- 昭和34年 第3回日本学生科学賞栃木県高校の部入賞  
平成7年 可視化情報学会論文賞  
平成27年 とちぎ産業活力大賞特別功労賞